玉造中だより
楽し学舎（まなびや）
No. 12
R2・7・20

三年間の思いを込めて 全力で試合にのぞもう

総体代替え大会始まる！

オープニングを飾ったハンド競技

十九日から新型コロナウィルスの感染拡大により中止になった「県東地区総体」の代替え大会がハンドボール競技を皮切りに始まりました。そして、二十三日からは柔道競技を除く全競技が行方市・潮来市内の会場で行われます。

三年生には、思い出に残る大会に・・・

今大会が部活動三年間の集大成となる三年生にとっては、総体が中止になって、一度は目標がなくなり気持ちが切れてしまうこともあったかと思いますが、この代替え大会に向けて切り替えて練習に取り組んできました。ぜひ、この大会では中学校の部活動の思い出に残る大会にしてほしいと思います。そして、一・二年生には、三年生の試合に臨む姿を見て、自分たちのこれからの部活動への取組を考える良い機会にして下さい。

感染症対策への協力を

今回の代替え大会は、相手チームと戦うだけではなく、「新型コロナウィルス」との戦いでもあります。大会に向けてこれまでにない決まりもあります。例えば、試合当日には「健康チェックシート」の提出が、全競技で、全選手に義務づけられています。（二日間の場合は、二日間、毎日提出）また、会場においても、消毒、応援の仕方等、競技ごとに決まっています。こういったこれまでにない決まりのある中での競技になることを忘れないで下さい。

保護者の皆様方におかれましても、応援等の際に、感染症対策への協力依頼がありますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

そして、みんなで三年生の思い出に残る大会にしていきたいと思います。

行方市内の中学校の生徒会オンライン交流会

1年生の新聞記者とのインタビュー

先日も紹介しましたが、行方市内の中学校の生徒会で活動状況の報告や情報交換を行う「行方市中学校生徒会オンライン・サミット」が先月から定期的に行われています。先週の木曜日には、第三回目の話合いが行われ、回を追うにつれ、話合いの内容も充実してきているようです。

今回の話合いでは、三つの中学校で共通に取り組むことについて話し合いました。中学生の力で何かできることはないか白熱した話合いになりました。その結果、九州地方の大雨による災害で被災した人たちに、募金を通して少しでも役に立てればということになり、今後、三つの学校で取り組んでいこうということになりました。詳しいことは、後日お知らせがあると思います。

今回、その三つの中学校の話合いの様子を、「なめがたエリアテレビ」が取材し、放映する予定です。放映日時等が分かりましたらお知らせいたします。

学級紹介

一年二組 ○○学級

級訓「ONE TEAM」

私たち一年二組の級訓は「ONE TEAM」です。この級訓になった理由は、去年ラグビー日本代表が、次から次に強豪国を倒してベスト8まで勝ち上がりました。その勝因として、チームが一つになって相手に向かっていったことがあります。私たち二組も、みんなで協力し、学級が一つになって行事などに取り組んでいけるようになりたい。そんな願いがこもっています。

二組では、授業中に分からないで困っている人がいると、自然に誰かが教えたりしています。みんな積極的で、どんなことにでも一生懸命取り組むことができます。また、男女の仲も良く、和気あいあいとした雰囲気の学級です。

反面、時々はめを外し、授業中ふざけてしまうこともあります。そんな時には、これからみんなで注意し合える学級にしていきたいと思います。

担任の先生は、とても優しく、おもしろい先生です。若い先生なので、とても話しやすく、私たちとも仲の良い関係ができています。これから先生と一緒にどこにも負けない学級にしていきたいと思います。

【担任から】

一年二組を担任して、毎日がとても楽しいです。二組の生徒は、自分の役割を自覚し、行動できる生徒が多い。反面、言われるとできるが、自分から進んでという部分が弱いような気がします。今年一年で、みんなで協力しながら、自分で考えて行動に移せる学級にしていきたいと思います。

編集後記

「AI（人工知能）との共存」

将棋の藤井聡太さんが史上最年少でタイトルを獲得した。十七歳という快挙に、新型コロナウィルスの感染拡大で暗い話ばかりだった日本列島に明るい話題を振りまいてくれた。彼のインタビューの中でAI将棋について聞かれたとき、こんな話をしていた。

「数年前には棋士と将棋ソフトとの対局というのは非常に大きな話題になりましたけど、今ではやはり将棋ソフトとのそういう対決の時代を越えて、共存という時代に入ったのかなというふうに思います。自分自身、プレイヤーとしてはソフトを活用することでより自分自身成長できる可能性があるというふうに思っていますし、また見ていただく方にとっても、観戦の際の楽しみの一つにしていただければな、というふうには思っています。」

これから国ではGIGAスクール構想により、一人一台の端末が導入される。行方市でも間もなくという話も聞く。今回の臨時休校を機に、一挙に端末導入が加速された。しかし、コンピュータに振り回される学校現場であってはいけない。コンピュータを使うのが目的ではなく、学校教育の目的を達成するための手段として活用することを忘れてはいけない。AIと共存するための主体的な判断力や学ぶ姿勢が必要になってきます。AIは素晴らしいものを持っているが、最終的にそれを操作するのは私たち人間です。不易を残しつつ、AIと共存していく社会はすでに訪れている。

（文責：小野口　吉政）